

上中里小学校マニフェスト(中期学校運営計画)

<p>計 画 期 間</p> <p>■上中里小学校 平成17年4月1日～平成19年3月31日</p> <p>■さわの里小学校 新校のため、19年1月掲載の予定 平成19年4月1日～平成23年3月31日</p>	
<p>学校の教育目標</p> <p>思いやりと活力をもち、確かな学力を身に付けた子に育てます。</p>	
<p>子どもの姿</p> <p>しっかり学ぶ子 心の広い子 いざというときさっと動ける子</p>	
<p>学校経営方針</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>1 新校「さわの里小学校」づくりを成功させよう</p> <p>2 チーム力を発揮し、組織的に機能し、助け合い支え合っていこう</p> <p>3 子どもたちをしっかり教え導き、教師としての職責を果たしていこう</p> </div>	
<p>指導の重点</p> <p>I 教育指導</p> <p>(1) 氷取沢小との毎月の交流教育を進め、差別のない新校づくりを進める。</p> <p>(2) 人と向き合えるコミュニケーション能力を育むため、国語力の向上と英語活動の授業を重点にする。</p> <p>(3) 異学年交流・異校種間交流・地域交流などを一層進め、社会のルールやマナーなど、生き方の基礎を身に付ける。</p>	<p>II 指導体制</p> <p>(1) 小規模校対策として、一部教科担任制、低・中・高学年ブロック対応とする。</p> <p>(2) 協力・協働体制による危機対応プログラムを実施し、安全な学校体制を仕組む。</p> <p>(3) 外部評価を生かし、子どもを社会全体で育む視点をもち、地域や区役所との連携の体制整備を図る。</p>

<p>改善の視点</p> <p>子ども一人一人に対応した学習を進め、基礎基本の定着を図ります。</p> <p>■本校は小規模校のため、お互いの考え方を練り上げたり高めたりする表現力が乏しいところがあります。そのため、他者とのかわり合いのなかで豊かな表現力を培うことが求められます。</p>	<p>取 組 目 標</p> <p>◎子ども自らがめあてをもって学習を進め、教師は何の力を付けるかを明確にするために週案に「具体の評価規準」を記載するようにします。</p> <p>■「一斉音読やまびこタイム」(一日5分ユニット)を確保し、毎日、音読に取り組みます。また、朝会の前に、各学級の発表時間を設け、その成果を評価し合います。</p> <p>■重点研究教科に「国語」を位置づけ、とりわけ、「話す・聞く」を「重点指導項目」とし、授業研究会を実施するとともに、その成果を「研究授業」や「上中里フェスティバル」などで公開します。</p> <p>■英語活動(推進校)を推進するため、朝の会は、挨拶を日本語と英語で行います。また、授業研究会を実施するとともに、英語集会を計画的に行い、英語に親しみ表現力を高めます。</p> <p>■総合的な学習の時間「輝きタイム」では、高学年のICT授業に地域の市民力をお借りして充実していきます。</p> <p>■上中里小・浜中・磯子高校のブラスバンド部による合同交流演奏会を地域に示し地域の文化の一つとなるようにし、表現力を高めます。</p>
<p>心を広げ、互いを認め合い、生かして生活できるようにします。</p> <p>2 2つの学校が一つになるには、互いに相手を認め合い、分かち合う差別のない心を育てる必要があります。そのため、人権教育を大切にしていきます。</p>	<p>◎「なかよし活動」(縦割り)により、グリーティングキャンペーン、オリエンテーリングを充実させ、拡充します。</p> <p>■「子ども人権会議」を氷取沢小学校と合同で行います。人権週間は道徳の時間を活用したり、人権標語を作って、地域に配布したりして、保護者・地域とともに人権意識を高められるよう啓発していきます。</p>

<p>規範意識を高め、あらゆる危機に対応できるようにします</p> <p>3 子どもが意欲的に学習に取り組む基盤として、自分の生活をしっかりと見つめられるようにします。また、あらゆる危機に対応できるように指導する必要があります。</p>	<p>◎「時間を守る」「居住まいを正す」「挨拶をする」を全校で取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■学援隊と協力し、挨拶の声かけ運動を進めます。 ■学援隊・生活安全課と協力し、「不審者対応訓練」年に2回実施するとともに、不審者を寄せ付けない、抑止力に努めます。平成17年度6件、18年度0件を目指します。 ■区役所と連携し、1年生と4年生にCAPを位置づけ、日頃から危機に対する対応について理解し、さっと行動できるようにします。また、区の「防犯拠点校」として犯罪のないまちづくりに貢献していきます。 ■「学校保健委員会」(年3回)を活用し、怪我をしないようにするための「安全宣言」行い、落ち着いて行動できるようにします。 ■特別支援教育コーディネーターを中心に、「児童理解」と「特別支援教育」を関連づけ、「特別支援を必要とする子ども」が学級の中で自己有用感をもち、安心して生活できるような支援体制を整備します。 ■職員会議を有効活用し、特別支援の必要な子どもについて全員周知の体制を取り、職員研修を全10回行います。
<p>外部評価を生かした学校づくりのために</p> <p>4 新校に向けて、保護者・地域に積極的に学校を開き、安心して登校できる信頼される学校づくりを推進する必要があります。</p>	<p>◎学校便りやホームページを改善し、学校の教育活動がよく分かるようにするため、給食便り・保健便りをバラバラに出すのではなく一括で編集します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■いつでも学校を開き、必要に応じて参観できるようにします。 ■平成19年度から、近隣公園の清掃活動を実施するなど、地域に貢献する学校づくりを推進します。

<p>人材育成の考え方</p>	<p>◎校内授業研究と研修の二つのブロックに分けて実施し、めあてをもって取り組めるよう「学級・教科経営案」と「自己観察書」とを連動して進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■第1ブロック 重点研究「国語・英語活動」の授業実践を行います。 ■第2ブロック 学校力・チーム力の向上を目指す研修(服務・体罰・特別支援・児童指導・人権研修・モラル)を行います。 ■主幹教諭がコーディネートできる校内体制を整え、児童理解・児童指導研修を推進します。 ■初任者研修は4つのキーワードで指導を進めます <ul style="list-style-type: none"> ・礼儀正しい 明るく勤務態度がよい ・親切できめ細かい指導 熱心で活力がある ・安全に配慮し教室環境を整え安心できる学級づくり・保護者への対応が丁寧
<p>平成18年度の重点取組項目</p>	<p style="text-align: center;"><上中里最後の学校教育活動9割実現を目指す></p> <ol style="list-style-type: none"> ①氷取沢小との交流教育・及び学校づくり委員会を立ち上げ、毎月実施し、スムーズな新校への移行ができるようにします。 ②「一斉音読やまびこタイム」(一日5分ユニット)を確保し、毎日、一斉音読に取り組み、各学級の発表時間を設け、その成果を評価し合います。 ③重点研究教科「国語」「英語活動」を全員一回の授業公開を実施。「国語」は研究の成果を磯子区内「一斉授業研」を活用して公開します。 ④校内通級システムを導入。児童指導・特別支援の連携により特別支援を要する子どもの理解を全員周知していきます。 ⑤「上中里小学援隊」を充実し、「防犯拠点校」として、地域住民と連携し、子どもを守ります。
<p>これまでの取組結果</p>	<p>平成17年度から「上中里小最後の学校教育活動」を実施してきました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■平成17年度に基礎をつくり、18年度は、音読・英語活動は成果を上げています。 ■学校と「上中里小学援隊165名」との協力活動は、抑止力としての成果だけでなく、子どもの挨拶・礼儀などの規範意識を高めています。
<p>まちとともに歩む学校づくり懇話会の意見</p>	<p>平成18年7月に第1回の懇話会を開催しました。意見は、次の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶・言葉遣いなどの礼儀正しい思いやりのある子どもに育ててほしい。 ・「さわの里小学校」を地域の文化の中心としてよりよい学校にしてほしい。 ・教育の成果を数値化して表すのは必ずしもよいとはいえない。 ・校歌・校章の作成は、両校の校長に一任します。